

## 鎌倉市エネルギー基本計画素案に対する市民等意見及び市の考え方

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
1	とてもわかりやすく、楽しんで読ませていただきました。応援しています。	エネルギー基本計画の具体的な実施に向けて、今後も応援をお願いします。
2	環境政策課が作られた素案は、貴重なデータも添えられた立派な内容で、意見を書くことはありません。	エネルギー基本計画の具体的な実施に向けて、取組みを進めてまいります。
3	市民の意見をととして入れた素晴らしい案になっていると思いました。とてもわかりやすく素晴らしい内容の基本計画の案だと思えます。今後も市民参加で実施計画、そして実践できれば素晴らしいです。	今後も市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。
4	わかりやすく興味をそそられる内容でした。変化に向けて市民協働で進んでいけるといいなと思いました。	今後も市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。
5	読んで理解して欲しいという気持ちが伝わってきました。その理由は以下の通りです。 ①表現が平易でわかりやすい。イラストやコラムも効果的に使われている。 ②親切的な用語集がついていてわかりやすい。 ③お金のかかるインフラ整備ばかりでなく、市民でもできることにもコミットしていること。 ④3.11前からの検討の積み上げが感じられて、大変に失礼ながら知らないところでもがんばっていただいているのだとよくわかりました。 ⑤困難な問題にチャレンジ精神が感じられて、小さい地域を意識した計画や日本の伝統を踏まえた計画等が垣間見えてとても鎌倉らしさを感じました。	ありがとうございます。 今後も市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。
6	まずはたいへんすばらしい素案の作成ありがとうございます。特に8/7ワールドカフェをはじめとする市民の声を極力反映しようとしている点、また中長期の目標を明確に定めている点が良いと思いました。この資料が広く市民の目に届き、実践のきっかけになることを望みます。	今後も市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。
7	エネルギー基本計画素案を拝見し、再生可能エネルギーの積極的な使用や外灯のLED採用など非常に良いと思いました。また中に入った打ち水大作戦などおそらくワールドカフェなどにて市民が発していたであろう言葉も見られ嬉しい限りです。	今後も市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。
8	基本的にこの素案に異議なしです。ありがとうございます。	今後も市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。
9	全体的に、素晴らしいと思います。他の自治体ではできなかったであろうと感じます。用語解説も良いです。全体的に長いので、一般論の部分は削ってもいいかもしれません。	今後も市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。なお、第1章基本的事項や第2章鎌倉市の現状把握について、基本的な情報として一定の説明が必要と考えています。
10	冊子を読ませていただきました。非常にわかりやすく、まとめてくださってありがとうございました。これまでエネルギーについて深く考えてこなかったもので、とても勉強になりました。打ち水とか、早寝早起きとか、市民が日々の生活からできることをやるのはステキだと思います。	エネルギー基本計画の具体的な実施に向けて、取組みを進めてまいりますので、これからもご協力をお願いいたします。
11	鎌倉市エネルギー基本計画素案の概要版を拝読させていただきました。大変素晴らしく、ぜひ実現させて観光だけでなくエネルギー最先端のまち鎌倉になることを願っています。鎌倉市民として、積極的に取り組み目標の達成を目指します。	エネルギー基本計画の具体的な実施に向けて、取組みを進めてまいりますので、これからもご協力をお願いいたします。
12	鎌倉市エネルギー基本計画素案、ざっくりとですが、読みました。市民・事業者のエネルギー意識については、8月のあの場で発表した内容がそのままわかりやすく掲載されていたり、エネルギー意識についてもわかりやくまとまっていて、ワールド・カフェに参加した一人としては、大変うれしく思いました。	今後も市民の皆様のご意見を聞きながら、エネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
13	<p>全体を通して、絵や囲み記事を多用しわかりやすく、また市民が自分事としてとらえ「やってみよう」と思わせる工夫が感じられたのが良かったです。用語解説も素晴らしいです。</p> <p>アンケートやワールド・カフェを行い、市民と共にこれからの鎌倉市のエネルギーをどうするか考えていく姿勢が良かったです。「基本計画をつくるため」ではなく、エネルギーをどうするか、真剣に考えてくれていることが伝わってきました。ただ、せっかく実施した市民アンケートの回収率が低い(41.7%)ことが残念です。答えやすさや実施方法などを工夫して、回収できなかった(関心のない)層への働きかけになるようなアンケートなり聞き取りなりができたらもっと良かったと思います。ワールド・カフェは私も参加し、3-17ページのまとめにもあるように、大量生産大量消費のライフスタイルから転換し、ご近所づきあいや伝統的な暮らしの知恵などの省エネに電力の見える化などの技術を取り入れたエネルギーとのつきあい方=古くて新しいライフスタイルを求める声が多く、そのような暮らし方のできる町になってほしいと思いました。</p> <p>第4章 再生可能エネルギー導入ポテンシャルもまとめられており、東京工業大学との共同研究などもしていたことに驚きました。よくやっておられるのだから、もっと市民に周知を工夫されてもよいと思います。それも啓発活動のひとつだと思います。</p>	<p>これからも市民の皆様の声を引き機会をつくってまいります。また、様々な機会・手段を通じ、市の取組み等について市民の皆様へ適切な情報発信を図ってまいります。市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。</p>
14	<p>・策定プロセスに、専門家の知見、市民参画が欠けている</p> <p>地域主導の再生可能エネルギー戦略を推進している自治体は、国内にいくつも存在しており、そこには環境エネルギー政策研究所のような専門的NGOや、その分野で知見のある有識者が関与している。また、多くの自治体は、市民、事業者、行政と一緒に先行事例に学び、協議を重ねて、事業を計画している。鎌倉市においては、公表されている限り専門家の関与はなく、市民参画も一度井戸端会議的な「ワールドカフェ」を開催しただけである。せっかく条例があり、計画を策定するならば、専門家、市民とともに、先行事例を参考に、十分な議論を重ねて策定すべきである。</p>	<p>策定までの時間に制約もあったことから、十分な議論が足りていないというご指摘は真摯に受け止め、今後のエネルギー実施計画策定の際には、市民の皆様とさらに議論を重ねていきたいと考えています。</p> <p>専門家については、学識経験者や電力・ガス等のエネルギー関連の民間企業、民間の研究機関等のご意見・ご審議をいただいて作成しているところですが、今後具体の事業を展開するには、より専門的な知見に基づき実施してまいります。</p>
15	<p>本事案の意見募集期限が適切であったか。電力・エネルギー問題は、国の政策を十分視野に入れて取り組むべき課題です。国の「エネルギー基本計画」は、現政権で閣議決定の動きがあります。決定時期は明言していないが、これを待って基本計画素案をとりまとめ、意見募集をした方が適切であったと思われる。</p>	<p>将来にわたって持続可能な循環型社会システムの構築をめざし、平成24年7月に議員立法で「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例」が制定されました。この条例において「基本計画は平成25年度中に策定するもの」が明定されております。</p> <p>条例の趣旨を踏まえるとともに、策定が遅れている国の動向を待つだけでなく、市としても喫緊の課題であるエネルギー問題に速やかに着実に取り組んでいこうという趣旨で現在、計画策定を行っています。</p> <p>しかしながら、ご意見のとおり、エネルギー問題は国の政策を十分に視野に入れた上で取り組まなければならない課題と認識していますので、国のエネルギー基本計画が明らかになった時点で、市の具体的な取組みへ反映させるとともに、必要に応じて計画の見直しなどをしていきたいと考えています。</p>
16	<p>たくさんいい案が出ていますが、どれを実際に推進して計画して推し進めていくのか、具体的な指針がないような感じを受けました。</p>	<p>第5章P.5-7~25に記載しています各基本方針における取組みの方向性に基づき、平成26年度にエネルギー実施計画を策定し、リーディングプロジェクトとして具体的に事業展開していく予定です。</p>
17	<p>一読した感想は、第4章「鎌倉市における再生可能エネルギー・省エネルギーの可能性」および第5章「ビジョン・基本方針・取組」の一部に、鎌倉市固有の内容が記述されているが、他の大部分はどこの自治体にも適用できる「一般的知識」あるいは「常套的調査手法とその結果」と評価されても当然といえる計画との印象を受けた。鎌倉市特有の問題にもう少し踏み込んだ内容で、ステークホルダーのモチベーションを高めることが出来ないかと残念に思われる。</p>	<p>今後、具体的な施策を着実に進めていく中で、より鎌倉市の特性に応じた市独自のエネルギー政策を展開してまいります。</p>
18	<p>結局の所、鎌倉らしさとは何だったのでしょうか？</p>	<p>環境審議会においても鎌倉らしさについて様々な議論を行いました。その中で、計画で示すものではなく、鎌倉市民の主体的な行動の積み重ねで「鎌倉らしさ」のあるエネルギー政策ができてくるのではないかという結論に至った経過があります。計画にも記載しており、鎌倉市の最大の強みは市民力であると考えています。市民の皆様と力を合わせて、鎌倉市を特徴づけるエネルギー施策を展開していきたいと思っております。</p>
19	<p>各所にコラムでの解説が有るのは評価できる。</p>	<p>今後もわかりやすい情報提供に努めてまいります。</p>

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
20	まず、これまで、どのようなエネルギー対策を行ってきたのか、全くなかったのか、現状をきちんと伝えてくれないと分かりにくいです。 市民へのアピールや啓発もかねて基本計画を立てていくのがいいと思います。	第1章P.1-5～8に市の取組み状況を記載しています。 従来は大型発電所で発電され送電されてきた電力を、地球温暖化対策の観点から、いかに無駄無く効率的に使用するかが主な取組みでしたが、これからはエネルギーを地域で創出するなど供給側の視点に立ったより能動的な取組みが必要になると考えています。 市民へアピール、啓発等については、具体的な施策の中で展開していきます。
21	「1. 1 エネルギーを取り巻く動向」で述べているように、エネルギーの安定確保の問題は、地球レベル(温暖化等)の現象、国レベルの政策(エネルギー源の確保)そして東京電力(株)の経営方針であり、国や県の政策に大きく依存している。そのため、市が取り組めるのは「1. 1-6 市の取組み状況」の最後に「鎌倉市スマートシティ形成に向けた研究」を実施し、鎌倉市内における再生可能エネルギー等の導入可能性について検討を行いました」と課題のフレームを設定したのは視野を狭くしているのでは無かろうか。	第1章P.1-5～8に市のこれまでの取組み状況を記載している部分です。 従来は大型発電所で発電され送電されてきた電力を、地球温暖化対策の観点から、いかに無駄無く効率的に使用するかが主な取組みでしたが、これからはエネルギーを地域で創出するなど供給側の視点に立ったより能動的な取組みが必要になると考えていますので、課題のフレームをしばらず、様々な視点から効果的な取組みを進めていきたいと考えています。
22	1. 1-2エネルギーと地球温暖化対策について、最新のIPCC第5次報告書では「人間活動が20世紀半ば以降に観測された温暖化の主な要因であった可能性が極めて高い(95%以上の確率)」としており、「2020年以降の新たな枠組みにおいては、先進国については全体として2050年までに少なくとも80%以上抑制する必要がある」としています。 CO <sub>2</sub> 排出による影響について国立環境研究所・江守守氏は、最近の講演で図を引用していました。行動を促す「正しい危機感」を市民が持つために、世界が共通して直面している現状について理解を促進するための最新の知見について、基本計画の中で触れるべきだと思います。	鎌倉市では、別途、「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」を策定しています。現在、国の方で東日本大震災後の状況変化を踏まえた新たな地球温暖化対策についての検討が進められていますが、それにあわせて鎌倉市でも見直しをしていく予定でおります。 エネルギー基本計画においても、地球温暖化対策の重要性について繰り返し記載していますが、IPCC報告書等の最新の知見などより専門的な記述については、今後策定を予定している「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」において取りあげていきたいと考えています。
23	1. 2-1市としての計画の必要性和目的は、とても良い内容だと思います。	計画策定後は、その推進に努めてまいります。
24	<概要版>2頁計画の目的、4頁計画期間と目標:「地域で使うエネルギーを地域でつくりだし、地産地消の自律的な方向に転換する必要がある」と記しています。その趣旨には賛成ですが、やや踏込過ぎた表現であると感じた。鎌倉市域に火力発電等の大規模発電設備を設けない限り、地産地消を自律的に実現することは難しいと判断します。再生可能エネルギー等による発電量の割合は平成42年度目標25%であることから推察されます。計画素案では電源構成(ベストミックス)をどのように考えていますか。	ご意見のとおり、地産地消のエネルギーシステムの構築には、多くの課題がありますが、今後の大きな方向性として、エネルギーの地産地消を目指しての分散型エネルギーシステムの構築が必要であるとと考えています。 「原子力に過度に依存せず、また地球環境にもやさしく、しかも安定した電力供給」、これら相反する課題を同時に解決していくことは非常に難しい問題ですが、この問題解決に向けての最適解をベストミックスと捉え、様々な施策を組み合わせる必要があると考えています。
25	2. 1-1鎌倉市の地域特性では、省エネルギー推進、再生可能エネルギー導入における地域特性を丁寧に説明していて良いと思います。	鎌倉市の特性に合ったエネルギー施策に取り組んでいきたいと考えています。
26	ただし、個人的には太陽光の「市域の日射量は十分に存在する」は過大評価であり、谷戸の中の住宅では日照時間は、P2-5の「②日照時間:三浦半島に位置する鎌倉市の日照時間は、2,000時間程度です(三浦半島アメダスデータ)」よりかなり短く(特に冬は)、P5-13のかこみで言及しているが、一般住宅では太陽光パネルの設置場所や方向に制限があり、高齢化が進み、年金生活者が多くなれば、住宅の省エネ化改造も制約が大きくなることも考慮すると、実効の日射量は更に少なくなると推定する。	ご意見のとおり、太陽光という性質上、地域的な偏りがあることは、認識していますが、市域における導入ポテンシャルとしては他の再生可能エネルギーに比べ優位性が高いと考えていますので、あくまで総論的な記述としてご理解ください。
27	2. 2-1鎌倉市のエネルギー消費について、鎌倉市の市民/事業者のエネルギー消費のうち、市内事業者を通じて供給された割合を算出、表記すると良いと思います。市域でのエネルギー調達増加による市経済への寄与を高められる余地が大きいことの理解を促進できると思います。	各住戸等のエネルギー調達先についての個別調査が必要になるため、現在データの捕捉が困難であることから、今後の課題とさせていただきます。
28	3. 1市民アンケートでは、在宅時間の違い、世帯構成等、生活スタイルの違いにより取り組みやすい省エネルギー提案により、促進するチャンスが多くあると思いました。	市民アンケート結果を生かし、効果的な省エネルギー対策に取り組んでまいります。
29	3. 3ワールドカフェでは、市民が鎌倉市を誇りに思い、それにふさわしいエネルギー政策を求めていることが理解できます。ワールドカフェのような市民との対話を、エネルギー基本計画に反映することは素晴らしいと思います。	今後も市民の皆様と協力してエネルギー基本計画の具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
30	4. 1再生可能エネルギーの利用可能性について、鎌倉市における再生可能エネルギーの利用可能性が良く理解できます。上下水道の流れを利用した小水力発電の導入ポテンシャルはないのでしょうか？	今後の技術革新、低コスト化などが進めば、将来的には実用の可能性もあるのではないかと考えています。
31	一般市民にとってエネルギーシステムの技術的評価は難解である。それは「P5-14」の市民の方々から寄せられた声・アイデアで挙げられた方式が、今後10年程度の期間の技術開発とかなり乖離していることから明らかである（ワールドカフェでのアイデアだからとも言えるが）。一般論でなく、鎌倉市に特化した、極端ケース（何が最悪か、何が最善かは断定できないので）中間ケース等のいくつかのモデルシナリオを提示することも検討すべきでないだろうか。一般市民の理解を得るためにも「4. 1-2 鎌倉市に適した再生可能エネルギー」の表（P4-4）は具体例などを参考資料として詳細に説明すべきである。例えば、一般受けしやすい風力発電所に関するものでは、以下の報道がある。導入失敗の例 オホーツク地方で唯一の風力発電施設である北海道興部町風力発電所は2001年3月に完成。風車は1基で、建設費約1億9000万円は、経済産業省が所管する独立行政法人の新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）がほぼ半額を負担し、道の補助を除く約5000万円を町が負担した。しかし、10年10月に発電機のベアリングが破損して稼働を停止。欧州製で部品発注のほか高所作業が必要となるため、修理には約4000万円かかることが判明した。全額を町が負担しなければならないことから、町は「長期的に見た場合、コスト面で運転再開は困難」（町企画財政課）と判断、発電所を廃止した。小規模風力発電施設が直面するコスト高の課題を露呈したかたちで、風車を固定したモニュメントとして残されることになった。（2012年1月14日 読売新聞より抜粋引用）	第4章P.4-4本市における再生可能エネルギーの利用可能性は、個々の再生可能エネルギーの技術的な解説ではなく、環境省等の公表している資料からみてとれるポテンシャルを示したものとご理解ください。今後導入展開する際には、より詳細な技術的事項についての情報提供を行ってきたいと考えています。
32	P4-5に「表より、本市で導入ポテンシャル・有効利用熱量が有るとされるものは太陽光、バイオマス、太陽熱、地中熱の4つで、風力（陸上）、中小（河川部等）、地熱は再生可能エネルギー固定価格買取制度の対象ですが、本市では、導入ポテンシャルは、非常に小さいという結果でした。以上より、再生可能エネルギー固定価格買取制度の対象で、大きな導入ポテンシャルや有効利用熱量を有する太陽光とバイオマスが今後、市域全体で一定規模の供給量が見込める分散型エネルギーと考えられます。」は極妥当な結論と言える。	今後も効果的な再生可能エネルギーの活用に努めてまいります。
33	何をするといくら節約できるという表（4-17）がありましたが、こちらは非常に家族にインパクトが強かった。金額面からアプローチして啓蒙していった方が効果的です。	これからも市民の皆様の関心と呼び、わかりやすくインパクトのある情報提供に努めてまいります。
34	省エネルギーの取組み 生活の中で、2次エネルギーを消費しています。それに伴い1次エネルギーの化石燃料を消費し、燃焼時に発生するCO <sub>2</sub> も排出している。 省エネルギーは、エネルギー資源の1次エネルギーの消費をおさえることが大切です。 エネルギー消費を1次エネルギーで判断し、比較することにより省エネ意識を高め実践することで関心がわきます。	今回のエネルギー基本計画では、市民に身近で、実感のわく形をと考え、2次エネルギーを中心に記載いたしました。しかしながら、ご指摘のとおり、1次エネルギーの消費を抑えることが重要であるため、今後の施策展開にあたっては1次エネルギーのあり方にも十分に留意し、またその実態を市民にわかりやすく提供できるよう努めてまいります。
35	5. 1鎌倉市の将来ビジョンは、わかりやすくとても良いです。現在のGDP増加を成功の指標とする経済は、一方で経済政策によって格差が拡大し、持続可能性の基盤である自然資本を食いつぶしていったとしても、経済成長していれば良いものとされています。しかし、現在の日本は地球2個分以上の資源を使って暮らしており、将来にわたって持続可能な経済ではありません。その中で「これまでの大量消費に裏付けられた生活の豊かさではなく、家族や地域の絆、健康、自然との共生など、”新しい豊かさ”を持続可能な形ですべての市民が享受できる地域が実現しています。」は、他の地方自治体の見本となる素晴らしいビジョンだと思います。	今後も市民の皆様と協力して、ビジョンの実現に向け、具体的な実施に努めてまいりたいと考えています。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
36	<p>5. 2-1目標の9行目 目標となる指標  「省エネルギーの推進」については「年間電力消費量の削減量」を、  「再生可能エネルギーの導入促進」については「年間電力消費量に対し再生可能エネルギー等により創生される発電量」を目標に掲げます。  それらによって、「二酸化炭素の削減量」の排出を削減します。  尚、年間電力消費量には、再生可能エネルギー等により創出された電力量は含みません。また、再生可能エネルギー等により創生される発電量の中で、余剰電力を電力会社などに売電する分については分母に含みません。  (21行目に、「省エネルギーは電力だけでなく、ガスや燃料油など、他のエネルギー源も含めて取り組んでいく必要があります」と記載されているとおり、地球温暖化防止および低炭素社会をめざす目標となる指標として、「二酸化炭素の削減量」についても併記する。尚、「再生可能エネルギー等により創生される発電量の中で、余剰電力を電力会社などに売電する分については含まない」と正しく補足的に追記しておく)</p>	<p>ご意見のとおり、二酸化炭素排出量の削減は重要な課題と考えていますが、国の政策を十分に視野に入れた上で取り組まなければならない課題と認識していますので、国のエネルギー基本計画が明らかになった時点で、「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」の見直しを行い、その中で温室効果ガス排出量の削減目標を設定する予定ですので、このままとさせていただきます。</p>
37	<p>5. 2目標及び基本方針では、将来のエネルギー消費目標は電力しか示されていないため、一次エネルギー全体の削減目標を示すべき。</p>	<p>目標を検証するに際しての毎年度のデータ把握において「電力消費」が最も精度の高いデータ収集が可能であること、また県が策定を進めている「かながわスマートエネルギー計画」においても電力消費を目標としているため、県と市の目標達成度合いの差異が認知しやすくなるという点を考慮して、市のエネルギー基本計画でも電力の削減量を目標に掲げました。しかしながら、ご意見のとおり、一次エネルギー全体の削減が重要と考えていますので、具体の事業においては一次エネルギー全体の削減につながるエネルギー施策を展開していきたいと考えています。</p>
38	<p>5. 2目標及び基本方針では、再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの促進等の対策にはコストがかかりますが、対策を行わないことによって市民が被ることが想定されるコスト(例えば、気候変動進展によって増加すると言われていた自然災害や海面上昇等に対応するために投入される税金、水資源・食料等の供給への影響等)が発生する可能性があることを触れると良いと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、再生可能エネルギー等の導入や省エネルギー促進のためには、一定のコストが必要です。対策の検討においては、民間活力の導入等できるだけ低コストで実施することを留意してまいります。また、エネルギー問題と地球温暖化等との関連については、1. 1エネルギーを取り巻く動向部分で記載したとおり、また「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例」の中でも、前文において記載されているとおりであり、より具体的な施策の検討を行う「エネルギー実施計画」の策定においても、引き続き留意してまいります。  なお、気候変動の問題については、今後改定を予定している「鎌倉市地球温暖化地域推進計画」の中で、あらためて市民の皆様のご意見を伺いながら、さらなる検討を行ってまいりたいと考えています。</p>
39	<p>5. 2-1目標で、本計画の目標について  「目標①市内の年間電力消費量 平成22(2010)年度比で、平成32(2020)年度に、▲10%、平成42(2030)年度に、▲20% 目標②市内の年間電力消費量に対する再生可能エネルギー等による発電量の割合 平成32(2020)年度に、10%、平成42(2030)年度に、25% とします。」とあるものを、以下のように修正してはどうか。  目標①市内の年間電力消費量  平成22(2010)年度比で、  平成32(2020)年度に、▲5%  平成42(2030)年度に、▲10%  目標②市内の年間電力消費量に対する再生可能エネルギー等による発電量の割合  平成32(2020)年度に、5%  平成42(2030)年度に、10% とします。  それらによって、「二酸化炭素の削減量」の排出を10%削減します。  (削減目標値の設定は、さまざまな行政施策の遂行により実現可能な値を担保せねばならず、安易に実現可能性が低い目標値を掲げても実施の主体となる市民および事業者などの行動から離れてしまい、真の目標にならないことを懸念する次第である。  もし、この目標値を掲げるならば、「中間年の2015年、2020年および2025年に目標達成状況をチェック&amp;レビューで検証し、必要があれば見直すこととする」と補足的に記載しておくべきである)</p>	<p>本計画の目標について、国、県、企業等と連携し、省エネルギー機器や再生可能エネルギー等の普及拡大を進め、今後様々な技術革新が進んだ場合、実現不可能な数値ではないと考えています。なお、P.1-16のとおり、エネルギー基本計画と来年度策定予定のエネルギー実施計画は、少なくとも3年ごとの見直しを行うことになっております。</p>

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
40	<p>&lt;5.2-2 基本方針&gt; 2つの目標に沿った4つの基本方針が示されている。それぞれ妥当な基本方針であるが、「5.3 各基本方針における取組の方向性」の中で「環境・エネルギー問題に関する市民意識の高さ」「エネルギーの使い方に無駄のない生活パターンを作り出すこと」「市民生活や産業活動を維持していく上でエネルギー利用は不可欠だが、その利用は資源消費・環境に大きな影響を及ぼすが、どのような暮らし方・経済活動を選択し、化石燃料によるエネルギー消費を抑えてゆくのか、低炭素社会の実現に向けての最重要課題」というような事項が打ち出されていることを踏まえると、「基本方針④低炭素まちづくりの推進」をより市民の行動力を巻き込む形で「基本方針④低炭素なまちづくり・ライフスタイルの推進」と明記したい。</p>	<p>この4つの基本方針は、上位計画である鎌倉市環境基本計画第2期改訂版一部改訂を平成25年4月に行いました。その際、目標の項目、エネルギーの有効利用を推進するための施策の体系として、まとめた方針をこのエネルギー基本計画においても踏襲しております。いただいたご意見を参考にし、ハード優先でなく、市民の行動等の実践につながる施策を推進してまいります。</p>
41	<p>鎌倉市では主たる「再生可能エネルギー」は当面の間、太陽光発電を有視している。 その想定される太陽光発電量は、鎌倉市全体（産業、業務、家庭部門）では平成32年には78,670MWhが見込まれますが、このグリーンエネルギーによるCO<sub>2</sub>削減量は、30,681t-CO<sub>2</sub>ほどあり、環境価値収益は、15,341千円程度が見込まれます。 鎌倉市による家庭への太陽光発電設置費補助の割合は今後、不明な点がありますが、むしろ市政全般（産業、業務、家庭部門）を総括した環境価値収益施策（グリーン電力証書取引仕組み）を構築し、鎌倉市の財政負担を軽減した市全体の「再生可能エネルギー」還元事業、及び環境保全活動が望まれます。 鎌倉市エネルギー基本計画素案では、この環境価値活用施策の記述が見当たりませんので、ぜひ検討すべきご提案いたします。</p>	<p>ご指摘の通り、環境価値を活用し、財政負担等を軽減した市全体の「再生可能エネルギー」還元事業という視点はとても重要なテーマと考えています。来年度策定する実施計画において具体的に検討していきたいと考えています。また、環境価値活用施策の記述については、一つの例として、「グリーン電力証書取引」に係る仕組みについて解説的な記載を加えます。</p>
42	<p>災害時においては、重要な公共施設、救急病院、避難所等における非常用電力の安定確保は必須の施策と考えます。再生可能エネルギー、蓄エネルギーは優先的に実践されるべきであり、計画素案に大いに賛成です。</p>	<p>非常時のエネルギーの安定確保に向け、計画を推進していきます。</p>
43	<p>5章の「効率的なエネルギー利用機器」 ●エネファーム .. カタログコピーのためか図が不鮮明です。太陽光発電とともに、コストダウンして、もっと普及されるべき優れたシステムであると思います。燃料電池が発表されたとき強く期待しましたが、あまり普及しない(=コストが下がらない)ので疑問に思ってきました。原発事故後には、「電力業界(経産省)による圧力で、普及に足かせをはめられたのだ」と気づきました。オール電化では、IHコンロの電磁波を気にしてかコンロだけはガスを使う人も多く、価格が低下すれば「太陽光発電+ガス燃料電池発電」の需要は増加すると思います。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、解像度を高めて見やすくなるように改善します。 燃料電池については平成21年度の販売開始以降、年々設置が進んでいる状況であり、国においても2020年に140万台、2030年に530万台という目標を掲げております。ご指摘の通り、コストが依然高いことが課題であるため、コスト削減が進むよう、国や県とも連携しながらさらなる普及拡大に努めてまいります。</p>
44	<p>5-23ページ「人にも環境にもやさしい」交通システムの実現」良いと思います。歩きやすく自転車で走りやすい町づくりは省エネになるだけでなく健康づくりにも地域経済にも良いですね。 □</p>	<p>人にも環境にもやさしい交通システムの実現に向けて努力してまいります。</p>
45	<p>5.3-4基本方針4の取組みの方向性の、5-23ページ23行目 低炭素社会実現に向けた基盤整備 ●「移動」 流入規制やロードプライシング(乗り入れる車両に課金する) 流入規制やロードプライシング(乗り入れる車両に環境負荷などを考慮して課金する) (ロードプライシング制度を実施検討する上で、乗り入れる車両にCO<sub>2</sub>およびNOx/Sox排出など環境への負荷などを考慮して課金する為、追記する)</p>	<p>ここではあくまでも基本計画としてロードプライシングなどを検討することを記載しています。ご指摘の課金方法など細部の制度設計については、具体的な実施の際に検討していく必要がある課題と捉えています。</p>

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
46	<p>5. 3-4基本方針4の取組の方向性の、5-24ページ下部の枠内  将来展望 平成42年(2013)年、スマートエネルギー都市・鎌倉へ  ●エネルギー問題は・・・。  例えば、省エネ成果によるエコポイント制度などの経済的なインセンティブ手法、排出量取引制度、Jクレジットなどの京都メカニズムを活用についても検討していく。  (省エネ成果によるエコポイント制度などの経済的なインセンティブ手法、排出量取引制度、Jクレジットなどの京都メカニズムを活用についても検討していくことを例示しておく)</p>	<p>今回策定するエネルギー基本計画は、方向性を示すものと位置づけていますが、ご指摘の提案は、計画の方向性として記載している「すべての行動主体が継続してエネルギー問題にかかわっていくことができる環境づくり」のための効果的な手法と考えています。来年度策定するエネルギー実施計画において、ご提案いただいた制度を含め、より具体的な検討をした上で、取り組んでいきたいと考えています。</p>
47	<p>EV電気自動車が本当の意味でクリーンであるか再考してもらいたいと思います。現在の電気は、ほぼ化石燃料による発電であり、石油を燃やす自動車と変わらない、あるいは効率が落ちるのではないかという疑問があります。燃料電池車、廃油によるディーゼル車などの方が環境面でよいのではないかという気がします。</p>	<p>EVIは走行時にCO<sub>2</sub>を排出量せず、騒音が少ない、また非常時には蓄電池としての活用もできるなど、様々なメリットを持った次世代交通手段と考えています。ご指摘のとおり、EVのみならず燃料電池車や廃油によるディーゼル車も含めた低公害車の普及に努めてまいります。</p>
48	<p>5. 4取組みの体系と各主体の行動で、5-27ページ下の枠内  基本方針4:低炭素まちづくりの推進  ★リーディングプロジェクトにむけて  ☆表彰制度の創設等、省エネ成果などの地域還元と普及策の検討  ☆表彰制度の創設および優秀事例報告会の開催等、省エネ成果などの地域還元と普及策の検討  (率先実行及び先進的な優秀事例の報告会を開催すると省エネ効果普及が期待できる為、追記する)</p>	<p>先進的な優秀事例の報告会を開催することによる省エネ意識の波及効果は高いと考えていますので、来年度策定するエネルギー実施計画において、より詳細について検討の上、取り組んでいきたいと考えています。</p>
49	<p>「鎌倉市エネルギー基本計画素案」に色々書いてありますが、水道については書かれていません。水道を使うにあたっては、エネルギーの使用があると思うのです。マンションの場合は、水を屋上タンクにくみ上げているはずですが。</p>	<p>ご意見のとおり、水道を利用する際にもエネルギー利用をしています。水道だけにかかわらず、私たちの生活の多く(ごみや食料問題等)がエネルギーを利用して成り立っているものであることから、まずはそれを自覚し、エネルギーの浪費構造を見直していけるよう、市民の皆様とともにエネルギー問題に取り組んでいきたいと考えています。</p>
50	<p>鎌倉市のエネルギー基本計画においては、脱温暖化、低炭素社会づくりをめざして地球温暖化防止の為に、省エネルギー、創エネルギーおよび蓄エネルギーなどについて、まちづくりから市民の行動までを範疇としてコメントしたい。  住みよい快適なまちづくりをめざして、鎌倉市での取り組みについての考えは以下の通りである。  1. 鎌倉市における主な課題 少子・高齢化、安心・安全、環境保全が喫緊の課題  鎌倉市では、(1)少子・高齢化が進行しており、(2)一昨年に起きた東日本大震災後の環境変化を踏まえた安心・安全なまちづくり、(3)節電および省エネルギーなどの環境保全が主な喫緊の課題となっている。  2. 今後に取り組むべき対策 最新技術を駆使した低炭素都市を指向  前述の課題を解決するために、鎌倉市におけるエネルギー基本計画として、①少子・高齢化対策としてユニバーサルデザインの活用、②安心・安全なまちづくりとして防災・蓄電システムの整備、③環境保全対策として低炭素都市の構築に今後は取り組むべきである。  3. 新たなまちづくりの提案 低炭素まちづくり、スマートシティの実現  また、環境政策としても、地球温暖化防止、省エネルギー対策及び再生可能エネルギー導入への一層の取り組みなどによる電力供給面でのピークシフト/カットなどへの貢献および安定供給の確保など地産地消の自立的なエネルギー基本計画の作成を通じて、鎌倉市の新たなまちづくりは、市民の取り組み行動を基盤として、低炭素まちづくりに向けた複合的なまちづくりの実現と普及・拡大をめざすことが必要である。</p>	<p>いただいたご意見を参考にし、エネルギー基本計画の具体的な実施に向けて、取り組みを進めてまいります。</p>
51	<p>具体的な施策の一つとして、例えば、ライフサイクル環境負荷(生産から流通、消費、廃棄の全過程での化石燃料によるCO<sub>2</sub>排出など温暖化ガスの排出総量)の低い商品(農産物、日用品、耐久消費財、住宅設備、住宅、交通手段、各種サービス等)を生活の中で選択的に消費することなどを、打ち出すことも重要と考えているところである。</p>	<p>ご意見を踏まえ、環境負荷などの情報がわかりやすく、市民の消費行動の参考になるような情報提供に努めてまいります。</p>

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
52	いま、多くの方の関心が社会持続性に向くようになり、その中でエネルギー調達方法やコストに注意が払われるようになりました。省エネルギーを街ぐるみで実行することは共同体意識を高める効果もあり、是非長く行ってほしいです。また、個人個人の取り組みが有機的に結び付くよう行政の方には配慮していただきたいと思ひます。	市民・事業者・行政等が一体となり、街ぐるみ・地域ぐるみでの省エネルギー活動が展開できるよう、市民の皆様のご意見をいただきながら様々な取組み方策について検討し、実施してまいります。
53	打ち水について取り上げていましたので、基本計画に入るか分かりませんが、雨水タンクの取り付けを市民が自分たちでやるプロジェクトとかできたら市民参加で楽しそうと思ひます。	いただいたご意見も参考にしながら、市民の皆様と鎌倉ならではの様々な施策に取り組んでまいります。
54	鎌倉では鎌倉平和推進実行委員会というのが市民委員が参加してありますが、鎌倉環境エネルギー委員会のようなものを立ち上げて市民委員を募集して省エネ、自然エネをすすめる取組みをやってみたいと思ひます。	いただいたご意見も参考にさせていただき、多くの市民が参加しエネルギー問題に取り組める環境整備に努めてまいります。
55	電気をつくり出すことを市民が体験できる機会をつくる。再生可能エネルギー(石油や原発以外)に替わっても、仕組みが理解できてなければ、また、電気をつくるという体験上の認識があるかどうかで、その後の電気との付き合い方は変わる。省エネにもつながる。まずは個人でもできるということを知った上で、地域で協力しあうことが大切では。また、地域リタイア層などにエンジニア的やりがいを持ってもらい、どこかの企業ではなく、地域力でトラブル時の対応ができる社会になっているのが望ましく思ひます。	ご意見のとおり、市民の皆様が再生可能エネルギーに触れられる機会をつくり、理解を深めていただけるよう、取り組んでまいります。
56	ごみ発電、下水発電など可能なことはやってみるべきと思ひます。その電力をどう利用するのか、というところも重要。市民がエネルギーが循環していることを感じるのが重要。(例えば、そのごみ発電で出来た電力はその施設内での使用でおわるとかであるとなかなか主体意識は生まれにくい。)市民をのせる。やる気にさせていくのが一番だと思ひますので、うまくやってほしい。	第5章P.5-23低炭素社会実現に向けた行動基盤に記載のとおり、鎌倉市の最大の資源は、市民力です。市民の皆様がやる気を引き出すことができる仕組みづくりが重要であると考へています。
57	省エネを促すキャンペーンは、個人商店の多い鎌倉ならではの商店や他の個人事業所と手を組んで取り組むことで、はやらせることも可能なのでは? !と思ひます。また、市民活動も熱心なまちなので、例えば打ち水はイマジン原発のない未来 kamakura paradeでも宣伝できるので、そのときはより団結したらよいのではないのでしょうか。	P.5-21~25第5章基本方針4低炭素まちづくりの推進における取組みの方向性に記載のとおり、鎌倉市の最大の資源は、市民力です。市民や事業者が協働により、エネルギー問題にかかわっていくことができる環境づくりなどが必要と考へており、来年度策定するエネルギー実施計画において、さらに具体的な取組みについて検討してまいります。
58	ワールドカフェは、普段から町づくりやエネルギー、政治に関心のある人たちが多く集まり、その上かなりの割合で知り合いばかりでした。もっともっと、関心の低い鎌倉市民の人たちがどうしたら自分事としてこういうことに注目してくれるために行政と、関心のある市民が協力して楽しいわかりやすいエネルギーカフェを定期的に設けることが大事だと思ひます。鎌倉には、こういうことに関心の高い自営業(カフェ、レストラン)の方も多いため、その場所を会場に、地道にエネルギーカフェを開催していくのもよいかと思ひます。理想は、市が所有する中心地に近い空き地などを上手く利用して市民と一緒に本当のエネルギーカフェを作る、というのも面白い取り組みになると思ひます。素案作成、お疲れさまでした。これからのリーディングプロジェクト実施にも大変期待しております。	市としても、市民との議論の積み重ねは重要であると考へており、いただいたご意見などを参考に、エネルギーに関する議論を深めていくことができる場を作っていきたいと思ひます。
59	5-9ページ「街なか避暑地」「打ち水大作戦」良いと思ひます。キャッチーなコピーがあると町のムーブメントとして定着しそうです。地域のつながりづくりなど副産物もありそうです。	市民の皆様と協力し、地域のつながりづくりに結び付く事業を実施していきたいと思ひます。
60	・ハードではなく、ソフトにこそ行政の投資を 固定価格買取制度も導入された今、ハードへの投資は基本的に民間で行うべきものである。しかし、そこに至るまでの市民・事業者の意識・知見の育成のためのセミナーや、家庭・事業所のエネルギー診断、専門家による助言、コーディネートなどにこそ、行政が投資すべきである。また、他自治体やNGOとの人材交流も積極的に進めるべきである。	ご指摘のとおり、市民、事業者が主体となった取組みがなければ、鎌倉市の将来ビジョンの実現は困難と考へています。いろいろな方々の相互交流を促し、情報ネットワークが広がるよう、行政として役割を果たしていきたいと思ひます。
61	P3-11に「(2)事業者の“気づき”を促し、“行動”につながる、きめ細やかな情報提供を」とあるが“気づき”あるいは“行動”は、ISO14000の基本である Plan-Do-Check-Action の一環であり、“気づき”を待たず、「指導」すべきものと思ひます。	ご意見を参考に、事業者が率先して省エネ行動できるよう施策の推進に努めてまいります。



番号	意見・質問等の概要	市の考え方
62	「自分たちのことは自分たちで決める。そして、その責任は自分たちで負う」という自治の原点に立ち、地域のことは市民や地域が共に考え、鎌倉が誇る資源を活かしながら、新しい魅力を創造し続けるべく、市民の市政や地域に対する関心とコミュニティの結束(もしくはコミュニティの一員としての自覚)により問題を解決する力」、これを市民力と捉え、Plan-Do-Check-Action を迅速に廻すことに期待する。	エネルギーをめぐる社会・経済的・技術動向の変化は激しくなっており、先の見通しが立てにくい情勢となっていますので、条例により3年以内に必ず見直しを行う計画となっています。この仕組みに基づき、適切なPDCA、改善活動に努めてまいります。
63	省エネあるいは低炭素社会に向けた行動規範(P5-23では「低炭素社会に向けた行動基盤」と有るが「規範」の間違いではないか)や意識の向上手段として、カフェのレベルから課題をより深く掘り下げた、シナリオワークショップ、フォーカスグループインタビュー、コンセンサス会議などの合意形成の手法を活用すべきと考える。	ご意見のとおり、市民、事業者などと対話を重ねていくことは重要であると考えております。なお、行動の規範ではなく、一定の行動を促す仕組みづくり、システム、ソフト的なインフラ整備をイメージして記載していますので、基盤という言葉を用いております。
64	質の悪い分散電源による逆潮流システムへの影響、スマートグリッド構想の実現など電力インフラの構造は今後かなりの変化が予想される。国レベルの施策の変化に柔軟に対応するには、市が敷いたレールの上を走らされ、それが一朝にして変化し、結果的にはくたびれ損をするのは住民という気に陥ることの無いように、平時における市民とのリスクコミュニケーションが重要と考える。	ご意見のとおり、市としても同様に考えておりますので、十分に市民とのリスクコミュニケーションを重ねてまいりたいと考えています。
65	「4. 2-2 省エネルギーの方法」で述べているハード面ソフト面の対策は、数値こそ多少変わったが、第1次オイルショックのころの内容と大差く、最後は「市民の意識の問題、啓発が重要」と言う結論で手詰まり感の印象は免れない。地道な活動や教育を行っている市民に光を当て、コミュニティとしてモチベーションを高める具体的な施策が必要と考える。	5-21～25第5章基本方針4低炭素まちづくりの推進における取組みの方向性に記載のとおり、鎌倉市の最大の資源は、市民力です。市民や事業者が協働により、エネルギー問題にかかわっていくことができる環境づくりなどの施策を考えており、来年度策定するエネルギー実施計画において、さらに具体的な取組みについて記載してまいります。
66	以前、ホクレア号が七里ヶ浜に来た時に彼らは日本の景色の素晴らしさは海からの景観にあるといった言葉がありました。鎌倉の景観というのはどうも陸(おか)目線からしか考えていないようですが、実際は外からみた鎌倉という意識が少ないと思います。実際太陽光などは湘南では南向きの斜面も多く、有効な場所も良いですが、海から見た景観というのも大切にしなければなりません。また、134号線沿い等は塩害があるものの一番効率的な場所とも思います。	ご意見のとおり、風致・景観に配慮しつつ太陽光発電システム等の普及に努める必要があると考えています。
67	再エネのポテンシャルの太陽熱課題のところ、給湯、空調利用などに限られますとありますが、ソーラークッカー、ソーラーオープンなど、あまり実用的と言えないですが調理利用もありますのでそういう可能性も面白い気がします。また、太陽熱温水器は以前は日本で100社以上の会社があり、現在は10社を切っていると聞きます。構造もシンプルで素人でも作れるので、リーディングプロジェクトで鎌倉に太陽熱温水器の地元メーカー立ち上げとか、市民公募でやってみるのも楽しそうです。	太陽熱は非常に大きなポテンシャルを有していますので、今後も技術進展の動向やその可能性について研究をすすめ、効果的な活用方法の検討に努めてまいります。
68	太陽光発電パネルは非難の対象になりがちなので、素材の安全性、環境順応性を確認していければいいと思います。	適切な情報の収集と提供により、環境順応性が高く、景観等にも配慮した太陽光パネルの普及が必要であると考えています。
69	とても未来に希望の持てる計画で良いと思います。メガソーラーは影となる大地がやせてしまい、微生物を呼び戻すには時間が大変にかかるとのことなので導入しないでいただきたいです。太陽光発電パネルの購入の助成は幅広く対応していただきたいです。	これからも十分に市民の皆様のご意見を聞きながら、再生可能エネルギーの普及促進に努めてまいります。
70	都市ガスが入っておらず、プロパンの地域で試験的にR水素を活用するという、おそらく日本で他の地域でやっていないことをやれたらと思います。コストが問題ですが。	水素エネルギーは将来の分散型エネルギーシステムの主力になりうる技術と認識していますが、ご意見のとおりコストが最大の課題です。今後の技術動向、コスト動向等を注視するなかで鎌倉市での取組可能性が高まってきた際には、計画に組み入れていきたいと考えています。
71	歴史の残る街として、小田原市と足並みをそろえて、「いい国つくろう鎌倉電力」を作り上げ、歴史に名を残してほしいです。そのための第一歩として再生エネルギー促進のための条例を策定することが必要だと思います。住む人の意識を変え、かつての日本人のように環境に悪影響を与えないライフスタイルに変えなければ、世界遺産に認定されてもうわべだけのものに過ぎません。	平成24年7月に「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例」が制定されました。この条例とそれに基づくエネルギー基本計画の趣旨にのっとり、また小田原市の事例なども参考にさせていただきながら、鎌倉ならではの取組みを進めてまいります。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
72	一般住宅向けの太陽光発電システムや蓄電システムのレンタル・リース販売の検討 運営会社を設立又は公募して、一括してレンタル・リース事業を展開する事により導入後の保守管理・メンテナンスまでを含めた事業を行えます。	エネルギー問題の解決には、太陽光発電システムや蓄電池の普及は重要であると認識しています。いただいたご意見を参考に様々な施策に取り組んでまいります。
73	<p>・太陽光、太陽熱発電の設置を公共施設から率先して行っていく。市民の皆さんに行っていることをきちんとアピールする。どのように役に立っているのか報告する。</p> <p>太陽光、太陽熱発電の設置など、まだ市役所では行っていないのでしょうか。</p> <p>まず市役所、学校施設、駅周辺などの公共施設で、市民の役に立つ形でアピールできる場所に設置する。将来建設予定の公共施設には設置前提にすること。次には信号機や商店街への設置が良いでしょう。</p> <p>この間、本郷台の駅にいきましたが、駅のバス待合のところには設置されていて、アピールされていました。大船駅西口など、自転車置き場などいろいろあると思います。また駅というのは地震の際、人が集まりやすいところですから太陽光、太陽熱発電の設置が災害の時に役に立つ形で設置されるべきです。</p> <p>災害の時集まる場所である学校施設も同じで、太陽光、太陽熱発電の設置を行い、普段の時もいざというときも役に立つ形にすべきです。</p> <p>信号機に関しては、車や人の多い重要な交差点には設置すべきです。</p> <p>商店街への設置は特に個人商店の集まる所がいいと思います。東日本大震災の際、大型商店はすぐ店が閉店になりましたが、個人商店では食料品が買えて、ほっとしたことがいまだに記憶に残っています。また大型商店には災害に備えて自前で率先して着けていただくことを奨励すべきです。</p> <p>太陽光、太陽熱発電ですから、昼間だけです、それでも最大限役に立つ方法で設置していただければと思います。</p>	<p>第5章P.5-12のとおり、市施設への再生可能エネルギー等導入実績は、平成24年度末現在、太陽光発電設備が5施設、太陽熱利用設備の導入施設は6施設です。平成25年度には、小中学校4校に太陽光発電屋根貸し事業により、太陽光発電設備を設置する事業を決定しました。なお、グリーンニューディール基金を活用し、平成26年度には玉縄行政センターに太陽光発電設備を、平成28年度には、笛田公園管理事務所に太陽光発電設備と風力発電設備の設置を予定しており、さらなる普及に努めてまいります。また、取組状況の報告については、有用な情報提供に努めてまいります。</p> <p>非常時のエネルギーについてですが、第5章5-16のとおり、取組みの方向性②非常時を視野に入れた効率的なエネルギーインフラ整備の中で、基本施策に掲げ具体的な施策として展開してまいります。</p>
74	大規模集合住宅に太陽光パネルをのせるだけの開発も近郊であります、高効率設備を大量生産するためのエネルギーは無視できず、設備の効率化もちろんですが、各住戸の使用量(消費への意識)をまず減らすことが大きな一歩だと思います。	エネルギー基本計画では、エネルギー問題は私たち一人ひとりのライフスタイルに大きくかわる問題と捉えています。エネルギー問題に対する意識の向上や理解を深めることができる取組みを進め、貴重なエネルギーを大切に、工夫をしながらエネルギー使用の削減に努めてまいります。
75	省エネをすればするほど得をする、という制度を一定期間作ることによって省エネは大幅にすすむと思います。例えば、「アンペアダウンをした家庭や事業者には税金が一定期間還元される。」「LEDや省エネ住宅の購入時に助成金ができる。」「昨年同月よりも電気代が下がった場合は、その半額が還元される」など。その分一定期間市の支出は増えますが、長い目でみると大きな得になると思います。	省エネを推進するためには、ご指摘のような動機づけ、きっかけづくりが必要になると思います。提案いただいたご意見も参考にしながら、効果的な施策を検討していきたいと考えています。
76	電力使用量の低減について 事業所及び自宅に電気の使用料測定器の導入を促す。導入後、前年度同月比で電気の使用料が減少した場合には、軽微な還付を行う。 導入例としては、川崎市のエコチャレンジファミリー事業があります。自分が現時点で使用している電力量がどの位で、コンセントを抜く事でどの位電力量が下がるかが分かれば、自発的にコンセントを抜いていくと思います。	ご指摘のとおり、エネルギーの「見える化」は、省エネ施策を進める上で、非常に効果的な取組みと考えています。ご紹介いただいた先進市の事例なども参考に、効果的に省エネが進む環境整備に努めていきます。
77	省エネについてですが、自動販売機を設置しないエリアなどを作ったら鎌倉をアピールする面でもよさそうに思います。省エネ効果は薄そうですが、箒を使うとか、公衆トイレをコンポストトイレにするなども鎌倉ばい気がします。	いただいたご意見も参考にしながら、鎌倉ならではの様々な施策に取り組み、発信していきたいと考えています。
78	スマートメーターを市内住戸、事業所に設置していくといいなあと思います。	東京電力は平成32年度(2020)までに約2,700万台のスマートメーターを設置していく方針を打ち出していますので、計画期間内にご意見のような設置が実現していくことが予想されます。市としてもそれら動向を注視していきたいと考えています。 ※スマートメーターの普及目標台数について最新のものに改めました。(平成26年3月5日更新)

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
79	意見といたしまして、市民の省エネをすすめる上でエネルギー使用量の見える化が有効に思えます。マンション単位での節電コンペがとても効果があったと聞きました。毎日どれくらいのエネルギーを使っているのかわかると自然に節電してしまうと思いますし、各家庭にスマートメーターが導入されたいと思います。	省エネを進めるに当たり、エネルギーの「見える化」は不可欠なものと考えています。東京電力は平成32年度(2020)までに約2,700万台のスマートメーターを設置していく方針を打ち出していますので、計画期間内にご意見のような設置が実現していくことが予想されます。これからもそのような情報を収集し、市民周知に努めてまいります。※スマートメーターの普及目標台数について最新のものに改めました。(平成26年3月5日更新)
80	<p>・打ち水大作戦について            防災とも関係を強くする。近所の人付き合い、顔見知りになる。といった点からも何気ない交流がいざというときに心強い。時間を決めて打ち水したい。経てば30度を超えた日は午後5時半とかに「今日は気温が30度を超えましたので、みなさん打ち水しましょう。」などといった防災かまくらによる放送、続いて6時に「6時になりました。打ち水の時間です。」などと放送が入ることで団結をうむ。</p> <p>・旧暦をとり入れた暮らし            旧暦は季節を細かく分けた二十四節気や七十二候のように、その時の気候のことや食や風習がわかり易くなっている。月の満ち欠けにも、それぞれ意見があったりするが、日本本来の四季に沿った暮らしは利にかなうことが多く、その旧暦の見直し教育を市内ですすめていきたい。特に「食」においては、季節の食材を取り入れることが、省エネルギーにかなり貢献する。(季節外の食べものをむりやりつくり出すには莫大なエネルギーを必要とする。)</p>	市民の皆様と協働し、いろいろなアイデアをいただきながら施策を推進してまいりますので、これからもご協力をお願いいたします。
81	ごみ減量は、「生ゴミのもう一絞り」が非常に分かりやすく効果的であると同様、省エネも「緑のカーテンや植生の利用」等の運動が、市民の意識にエネルギーの有効活用・省エネ植え付けるのに有効ではないかと考える。	ご意見のとおり、緑のカーテン普及事業は、エネルギーの有効活用、省エネ行動につながる施策と考えており、平成21年度から継続して取り組んでいる事業です。今後も引き続きその普及に努めてまいります。
82	蓄電システムの計画的配備 市の施設だけではなく、不特定多数の人々が利用する施設への設置。 (例)複合商業施設、町内会館など	いただいたご提案を参考に、非常時のエネルギーの安定確保に向け、計画を推進していきます。
83	蓄電システムの充電インフラの整備 上記蓄電システムを市内の複数拠点で充電や使用できる環境の整備 電力会社からの電力使用だけではなく、太陽光発電システムを併用した設備の導入 (例)PV-EV充電システム、ソーラーサイクルステーションなど	いただいたご提案を参考に、低炭素まちづくりの推進に向けたハード整備に努めます。
84	今月の大雪を経験して思ったのは、ついこの間の2/14からの山梨の状況がもし鎌倉で起こってしまったらどうなるのだろうということです。 1度目の雪では、鎌倉で停電も数回起こりました。 悪天候による影響でライフラインが遮断された場合の環境整備は、やはり常に考えておくべきことだと感じます。	非常時のエネルギーに関しては、この計画においても最重要施策と位置付けています。災害等に強いまちづくりを目指し、施策を推進してまいります。
85	5-16ページ「非常時を視野に入れた効率的なエネルギーインフラの整備」良いと思います。停電時にオフグリッド使用できる電力の確保は絶対必要です。 「病院や福祉施設などでの安定したエネルギー供給のあり方について検討を行います」福祉施設も災害時の避難場所になり得るので記載されていて良いと思います。鎌倉山の知的障がい者施設に太陽光発電システムがあるのに故障して使っていないとのこと、故障して放置されているケースも多いかもしれないので修理の情報提供もされていくと良いです。	非常時のエネルギー確保は、計画の中でも最優先の課題と位置付けております。いただいたご意見を参考に市域全体のエネルギーセキュリティ向上に努めてまいります。
86	インフラストラクチャとしてのエネルギーシステムを考える場合、もっとも重要なのはロバスト性(頑強性)であり、次に安定性と品質の確保ではないかと考える。今後、逆流システムが普及し系統連携が複雑化すると、大規模災害時とは異なる障害が発生することも想定すべきであろう。そのような場合、システムの縮約順序、代替エネルギーの確保、エネルギー供給の優先順位に関する計画が必須であり、それを折り込んでこそ「スマートシティ」と言えるのではないかと。	鎌倉に適したスマートシティ形成に向け、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
87	正月だけでなく、5月GWや秋の行楽シーズンに、マイカー禁止期間をつくっては？あるいは鎌倉サイクリングデーをつくって、全国からサイクリストが結集するイベントをしてはどうでしょうか？	交通問題の解消は低炭素のまちづくりを進めていく上での大きな課題ととらえています。今回いただいたご提案については、特定の事業に対するご意見・要望として受け止め、担当セクションに伝えさせていただきます。
88	市外からの流入者について 鎌倉市外より自家用車等で流入する場合、交通渋滞緩和を目的とした特別税を徴収する。 イギリスのロンドンには「渋滞税」というものがある。これは、ロンドン中心部に車を乗り入れるときに、8ポンド(1,000円程度)を支払う。というものがあります。また、ニューヨークにも同様の仕組みがあります。	交通問題の解消は低炭素のまちづくりを進めていく上での重要な課題ととらえています。今回いただいたご提案を含め、効果的な施策について検討を進めていきます。
89	市営駐車場の整備 市で運営する駐車場を整備し、レンタルサイクルや人力車等と協業して観光客を市内へ誘導します。 (例)景観を配慮した地下駐車場(立体)の整備など	交通問題の解消は低炭素のまちづくりを進めていく上での重要な課題ととらえています。今回いただいたご提案を含め、効果的な施策について検討を進めていきます。
90	・鎌倉の慢性的な渋滞を緩和するための市民ファンド 小型モビリティ、電気自動車、アシスト自転車など、シェアレンタル事業を行い、お金、あるいは駐車・駐輪場の場所や管理を提供してくれた人には優先して貸し出しできる制度はいかがでしょうか。特に観光地のアシスト自転車のレンタルはクリーンでいいと思います。 鎌倉の慢性的な渋滞を緩和するための市民ファンドがいいと思います。それと同時に道路の整備にも力を入れることが肝心だと思います。	交通問題の解消は低炭素のまちづくりを進めていく上での重要な課題ととらえています。今回いただいたご提案を含め、効果的な施策について検討を進めていきます。
91	小型モビリティの導入よりも自転車をうまく使うようにする方が環境にもよく、鎌倉にマッチしていると思います。多くの都市で、無人の自転車レンタル・返却ステーションが運営されています。	今回いただいたご意見を参考に、様々な面から低炭素社会にふさわしい交通のあり方について検討を進めていきます。
92	3. 1市民アンケートでは、エネルギー問題への関心がやや低いとなった層は、仕事・学業等で在宅時間が少なく調理機器等の使用頻度が少ない層ですが、逆に待機電力の削減チャンスが大きい層でもありました。また、より関心を高めるためには、省エネによるメリットをkWh等だけでなく、金額で表記すると良いと思います。	今後、ご提案にあるような情報提供なども行い、エネルギーに対してより多くの方に関心を持ってもらえるよう取り組んでいきます。
93	4. 2省エネルギーでは、ここで紹介されているのは、主に機器利用等による「アクティブ(能動的)」な再生可能エネルギー利用や省エネルギーですが、一方で「パッシブ(受動的)なエネルギー利用という考え方があることをコラム等で紹介すると良いと思いました。また、鎌倉市に事務所を置く「一般社団法人パッシブハウスジャパン」は環境省事業として「うちエコ診断」を行っていますので、紹介すると良いと思います。」	エネルギーに関する効果的な情報を市民の皆様に提供していくことが今後の基本施策の一つになります。ご提案を含め、様々な情報について、あらゆる機会を通じて周知していきたいと考えています。
94	「建替えに際してスマートハウスが主流になれば、住宅はエネルギーを消費する器ではなく、再生可能エネルギーを創出する器へと変わっていく可能性があります」その通りですが、建築基準法がエアコンありきになっています。何が本当に環境負荷が少ないのかを見極めて情報提供をお願いします。	製造から廃棄までトータルな環境負荷を見通し、最適な行動を促していくことができる情報提供に努めてまいります。
95	熱エネルギーの利用拡大をもっと全面に出してほしい。簡易で安価な木質ガスボイラーが普及しつつあるので、間伐材を利用した熱利用などすぐに実行できそう。まず市庁舎、学校、銭湯などの公共施設はすぐにも利用できると思います。	エネルギー基本計画においても、間伐材などの木質バイオマスを本市の貴重なエネルギー源ととらえています。熱エネルギーの利用拡大につながる施策を検討し実施してまいります。
96	バイオマスなどは最近廃屋の目立つ、谷戸の奥などがよいかもしれません。	ご意見を参考にさせていただきながら、鎌倉市のバイオマス資源の有効活用について検討してまいります。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
97	5-15ページ「廃食用油やバイオマス(市内の山林資源や廃棄物)など、地域の未利用エネルギーで利用可能なエネルギーの活用について研究を進めます。」良いと思います。使用済み菜種油にアルミホイルで包んだコルクを浮かべて暖と灯りをとる方法もあり、廃油カーは無理な人も自宅内での活用もできそうです。また、山梨で堆肥化している剪定ゴミや、持ち出し禁止の市所有地の山林資源(間伐が必要とところがたくさんあるはずです)を無駄なく使えたら市のコスト削減にも良いと思います。	廃食油・バイオマスは鎌倉の特徴を生かしたエネルギー施策の源となる可能性を秘めていると考えています。ご意見を参考にして、これら未利用エネルギーの活用について研究を進めてまいります。
98	まずはこのような機会をつくってくださってありがとうございます。 さまざまなデータを読み解く力が不足しているので全体的なコメントはできないのですが、自分の生活からの実感にもとづくものをひとつだけ。 台峰の手入れを時々お手伝いさせていただいています。鎌倉の里山や竹林が荒れていることが気にかかります。さらに手入れをしてもそれが「ゴミ」になるのは大変もったいない。 これらを是非エネルギーにさせていただきたく願います。よろしく願います。	第5章P.5-15に記載のとおり、今まで使っていなかった山林資源は、鎌倉市内のエネルギー源として高いポテンシャルを持っていると考えています。その活用方策について研究を進めてまいります。
99	3. 1市民アンケートについて、エネルギー問題と取組み状況については、「年代とともに上昇する」とアンケート結果にありました。このため、小学校から関心を持たせるように、学校教育の必要性を感じました。	ご意見のとおり、若年層へのエネルギー環境教育はとても大切な取組みになります。エネルギーや環境問題への関心を高め、理解を深めていくことができるエネルギー環境教育の推進に努めてまいります。
100	5-22ページ「次代を担い未来を生きる子どもたちが・・・エネルギー環境教育を推進します。」教育はとても大事です。是非積極的にしてください。その際、「エネルギー」の面だけでなく多面的にエコロジーを考えてもらう教育(例えば、再生可能エネルギーはよいけれど太陽光パネルも風車も結局は大きなごみになる。じゃあどうすればよいか?など)をお願いします。	いただいたご意見のとおり、エネルギーの一面を見るのではなく、視野を環境負荷全体に及ぼすことが重要と考えています。多面的にエコロジーを考えていくことができる環境教育の推進に努めてまいります。
101	これからは未来を担う子供たちへの環境教育が一番大事になってくると思います。そういった面でも環境教育に力をいれるべきです。 省エネ、再エネに取り組んでいる企業をどんどん優遇して誘致すべきだと思います。 この辺は是非、実施計画で取り入れてもらえればと思います。	エネルギー施策は市民、事業等が一体となり取り組むことにより、はじめて実行性が出るものと考えています。ご指摘のとおり、環境教育や意欲的な企業の誘致は必要不可欠と考えていますので、効果的な施策の実施に努めてまいります。
102	住宅、建物セクターにおける省エネの本道は「断熱」です。木造住宅普及促進の施策に加え、ペアガラスなど断熱性能の高い住宅を普及させる施策を鎌倉独自に展開しては。あるいはこれからできる市の施設(新築、中古リフォーム含め)で、自然エネ100%のモデル建築をつくってみては?これらのプロジェクトについては、省エネベンチャーや設計士にコンペ方式で参加してもらってはどうか。	今後のエネルギー施策において、住宅の環境性能を上げていくことが、非常に効果のある取組みであると考えています。いただいたご意見も参考にさせていただきながら、環境性能の高い住宅の普及促進に努めてまいります。
103	鎌倉独自の中古住宅断熱・遮熱リフォーム工事を推奨するための政策。	鎌倉市は、市内の居住している住宅の住宅リフォームに対する補助制度を設け一定の助成を行っていますが、省エネリフォーム等のさらなる促進が図れるよう、適切な情報提供や相談・支援ができる体制強化について検討を進めてまいります。
104	欧米でのゴミ焼却エネルギーを利用した温水(プール、温水暖房等)や発電などもゴミ削減だけに限らない放出エネルギー転換の方法の一つだと思います。	「ゼロ・ウェイストかまくら」の理念を踏まえ、ごみの削減を図ってまいります。それでも排出されるごみについては、新たな焼却炉において発電や余熱利用等、有効なエネルギー活用ができるよう、検討してまいります。
105	5-15ページ「ごみ焼却施設、浄化センターなどにおける未利用エネルギーの活用について検討を進め、エネルギー消費施設からエネルギー創出施設への転換を図ります。」新たに建設するごみ焼却施設でエネルギーを回収するのは良いと思いますが、建設費や維持費が高くつく大きなものや技術的に難しいものはやめてほしいです。専門的なことはよくわかりませんが、単純なつくりの方が結局は災害時にも強く耐久性にも優れている気がします。電力より効率よい熱回収で銭湯を是非つくってほしいです。	ご指摘のとおり、大型施設建設にあたっては、コストなどを十分見極め、最少の経費で最大の効果を出す施設づくりが重要であると考えています。効率の良いエネルギー回収を行い市民の皆様により喜んでいただけるような活用方策を考えてまいります。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
106	<p>・省エネ、再エネへの投資促進の新たなしくみの導入を結果的に、できあがった計画は、これまでの環境基本計画や地球温暖化対策の中ですで行っていかざるべき内容にとどまっている。せっかくエネルギーに関する計画を新たに策定するのであれば、市民、事業者がエネルギーに投資し、市内のエネルギービジネスを育成する新たなしくみを盛り込むべきである。地域の資源であるエネルギーで得られたお金は地域に還元されるよう、金融機関も交えての研究なども行うべきである。</p>	<p>ご指摘の視点は今後のエネルギー政策を関っていく上でとても重要な視点になると考えています。第5章P.5-24に記載のとおり、地域における資金の循環や新たな産業育成なども視野に入れ、市民、事業者、行政の協働により、エネルギーを軸にした経済活動モデル、コミュニティモデルのあり方について検討を進めていきたいと考えています。</p>
107	<p>公共施設の電力は、東電でなく新電力と契約することにし、公共部門からいち早く脱原子力を実現してはどうでしょうか。</p>	<p>公共施設の電力は、高圧受電施設67ヶ所のうち64ヶ所で行札を実施し、その結果、55施設についてPPS(新電力)と契約しております。</p>
108	<p>行政地域を超えた取組みにも期待します。風力が足りないなら風の吹く地域と、など。古代は山から海までのラインで生活エリアを区切っていたようです。</p>	<p>エネルギー問題は広域的な視点にたち、様々な地域が長所を生かしあい協力し合って取り組んでいくことで大きな効果を生むものと考えています。ご意見を参考にして、行政区域を超えた取組みも検討していきたいと考えています。</p>
109	<p>&lt;1.3 計画の位置づけ&gt; エネルギー基本計画の柱を、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーに置いていることは理解できるが、頁1-14の図にあるように、緑、廃棄物処理、防災、交通、地球温暖化対策などの個別計画と連動して進められることに意味があることから、それら他の個別計画の諸施策と本エネルギー基本計画の諸施策との関係性を体系的に捉えるマップを示されることが望まれる。</p>	<p>様々な分野の計画と密接にからんだ事業展開が必要なことから、エネルギー実施計画の策定時には、相互の関連性が分かるように説明していきたいと考えています。</p>
110	<p>低炭素化 まず、NO CAR DAYを年始だけでなく、ゴールデンウィークや3連休なども実行していく。商店街もうるおうはず、うるおわなくなるのはチェーン系の店なので、鎌倉市には影響が少ないので実行あるのみ。 あとは「はつりまつり」、コンクリートをはがすまつり パパさんたちが、はりきってできるように企画する。不要なエリアのコンクリートはどんどんはがしていきましょう。コンクリートがなくなれば、下駄で歩きたくなる街になり、下駄をはくなら着物を着たくなる。市民に着物文化が根付いてくれば、観光にもつながるし、文化的かまぐららの印象にもつながる。牛が歩いて行商人が行きかう。そのな特区をつくりたい。</p>	<p>いただいたご提案も参考にしながら、効果的な施策を検討していきます。</p>
111	<p>本計画では、主として省エネルギー(何ワットあるいは何ジュール削減)という視座からの評価をおこなっているが、LCA(Life Cycle Assessment)あるいはLCC(Life Cycle Cost)側面の評価も必要と考える。具体例として、市民がいつどのような機器を導入すれば生涯何トンの温暖化ガスの発生抑制ができ、機器購入の元が取れるか等の評価。現在は、原子力発電所の運転停止により現在の二酸化炭素の排出量に関心が集中しているが、原子力発電所再稼働の工程が決まり、核燃料サイクルの実現化の結論が出れば、当然、LCAあるいはLCCの評価が浮上してくると思われる。</p>	<p>施策の展開にあたっては、LCA、LCCの評価は、必要不可欠と考えておりますので、いただいたご意見を参考に事業を実施してまいります。</p>
112	<p>・生ごみ堆肥化の設備設置、美化活動のための市民ファンド 公共施設に生ごみ堆肥化の設備を設置、そこに施設ではもちろん登録した市民も生ごみを投入でき、さらに肥料を公共施設や役所、支所で販売、そのお金を美化運動、緑化運動に当てる、市民ファンドはいかがでしょうか。設置の場所と管理を提供していただける公共施設、設備を設置のために資金を出す市民、生ごみをだす市民は、それ相応の肥料や苗を無料でもらえるという形にすればいいと思います。 正直、市役所はもちろん、小中学校では設置義務化してほしいです。公共施設など、給食の残飯はどう処理されているのでしょうか。それすら知らない現状です。さらに鎌倉市公園協会や県立フラワーセンターにも設備設置の協力や堆肥の利用や苗の提供など美化活動に参加していただければと思います。フラワーセンターは県立なのでどうかと思いますが、鎌倉市公園協会はやるべきだと思います。すでにやっているのなら広報をきちんとすべきです。生ごみ堆肥化の設備設置、美化活動のための市民ファンドはエネルギーとは直接関係しませんが、焼却ごみを減らす点で節約、省エネになるのでぜひ取り組んでいただきたいです。少し話はそれますが、生鮮食料品を扱うお店、コンビニなど食品ロスを防ぐフードバンク関係の取り組みも行うべきだと思います。</p>	<p>現在、市内の小学校等10か所において大型生ごみ処理機を設置しており、市内の全小学校、市役所本庁舎及び岡本市営住宅から排出される生ごみを資源化しています。ここで出る成果物については業者の施設において堆肥化され、農家等に販売されています。また、西御門自治会、医療法人湘和会湘南記念病院及び株式会社紀ノ國屋鎌倉店の3か所について、生ごみ資源化のモデル事業として大型生ごみ処理機を設置し、生ごみを処理しています。 生ごみの処理においては異物混入が問題となることが多いため、不特定多数の方が生ごみを入れる処理施設については、設置が難しいと考えています。 なお、事業者における食品ロスの取組みについては、広報紙での取り組み事例の紹介や、事業者に対する説明会等でのチラシ配布により啓発しています。</p>

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
113	まずは省エネルギーだと思います。それにはゴミ削減かなと感じています。なんとなく。販売側の産出するゴミにも意識を向けてもらえるといいなと思います。たとえばスーパーでは梱包をその場で回収してもらう。買い物客はタッパーなどを持ち歩いて買い物に出る。スーパーは回収したゴミを自社処理する。市のゴミ収集の労力が削減する。スーパーもマルシェ型の商品展開を試みるようになる・・といいなあと。	本市では、第2次鎌倉市一般廃棄物処理基本計画ごみ処理基本計画において、3Rのための事業者の役割として簡易包装の実施や資源物回収ボックスの設置について記載しており、事業者に訪問指導を行う際に簡易包装の実施等について啓発を行っています。今後も引き続き、容器包装ごみの削減のため周知を行っていきます。
114	再エネのポテンシャルの太陽光発電のところで耕作放棄地が0.62haとあり、発電するより都市農園として活用する方法を市民参加で考えてはどうでしょうか。	今後の市の施策の参考にさせていただきます。
115	私は鎌倉の森を歩くのが好きなのですが、かなり荒れていると感じています。細い木など多く林業の可能性などわかりませんが、伐採して森を育てながら、地元の木を活用して森でも食料をとれるようにという取組みをしたいです。それには、おそらく10年とかではなく50年、100年のスパンでの計画になると思います。	鎌倉の豊かなみどりを資源ととらえ役立てていく発想が今後ますます必要になると思います。長期的な視点で全庁的に取り組んでいかなければならない課題と認識しています。
116	1. 1-1エネルギー問題の本文中、高度経済成長期以降、私たちの暮らしは石油や石炭など多くの化石燃料を使用（高度経済成長期以降、私たちの暮らしは既に「石炭」を使用しなくなっており、代わりに「ガス」を記載する）	エネルギー資源の海外依存度が大きい日本では他の発電方法とのバランスをとることが重要ですが、今でも日本の電気の約25%は石炭火力で作られているため、このように表現しています。
117	1. 1-2エネルギーと地球温暖化対策の本文中、・・・世界各地で異常気象など多くの問題を引き起こしているため、・・・ (IPCCでも報告されているとおり、世界各地で異常気象など多くの問題が発生しているのは、「気候変動」問題として扱われているので追記する)	気候変動問題も含め、様々な問題が起こっているため、このままの表記とします。
118	1. 3-2計画期間の本文中、リーディングプロジェクトの看板替え見直しなどをしていく・・・。 (「看板替え」では表現が不適切であり、代わりに「見直し」を記載する)	ご指摘のとおり、「見直し」に変更します。
119	2. 1-1鎌倉市の地域特性で、月別の最高・平均・最低気温のグラフについて、カラー表示ではない、モノクロ表示で出力された場合、グラフ表示の区分を識別できるようにする。 (モノクロ表示で出力された場合、グラフ表示が識別できない為)	ご指摘のとおり、モノクロで出力した場合でも区分できるように修正します。
120	2. 1-1鎌倉市の地域特性で、日照時間の記載の1行目 ・・・日照時間は、2,000時間程度です・・・。 (対象となる期間の表示がない為、「年間」を追記する)	ご指摘のとおり、修正します。
121	2. 1-1鎌倉市の地域特性で、表. 神奈川県と鎌倉市における住宅の建築時期 ・10年毎の表示に統一されていない。 ・表中の総数と合計値が合わない。 ・10年毎の表示に統一した方が見やすい。 ・表中の総数と合計値を合わせる。 (統計データの取り扱い及び表示が不適切な為、改善する)	建築時期については、住宅・土地統計調査のデータを引用しているため、出典に合わせたデータ表示にならざるを得ないことをご理解ください。
122	2. 2-1鎌倉市のエネルギー消費について、鎌倉市は都市ガス供給がなくプロパンガスを利用している地域があり、そのエネルギー消費についても都市ガスに含まれているか否かを注記すると丁寧かと思えます。	ご意見のとおり、記述を追加します。
123	2. 1-1鎌倉市の地域特性で、電力消費の状況についての2-16ページ3行目 ・各部門それぞれで、・・・ピークカットを行うことが課題・・・。 (ピークカットだけではなく、ピークシフトも含めた努力行為に表現を変更する)	ご指摘のとおり、修正します。
124	2. 1-1鎌倉市の地域特性で、2-17ページの図. 家庭の時間帯別機器別電力需要 カラー表示ではない、モノクロ表示で出力された場合、グラフ表示の区分を識別できるようにする。(モノクロ表示で出力された場合、グラフ表示が識別できない為)	資源エネルギー庁作成のデータを使用しているため、見づらい印刷となってしまいました。今後、行政計画策定後、製本するまでに見やすい印刷ができるよう努めたいと思います。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
125	2. 1-1 鎌倉市の地域特性で、2-18ページの図. 部門別年間ガス消費量の推移 電力、ガスおよび灯油・軽油(ガソリン)毎のエネルギー使用量を年次推移で表示する。(化石エネルギーから非化石エネルギーへのエネルギー・燃料転換を考慮する必要がある為、グラフを追加する)	電気、ガスについては、比較的正確な市内データが把握できること、また、エネルギー消費量の半分以上を占めていることから、主なエネルギー源の使用の推移状況として、電気、ガスを取り上げています。灯油、軽油、ガソリン等においては、市内レベルでの過去のデータを把握できる状況にないため、ご理解ください。
126	3. 3ワールド・カフェの文中、エネルギーを「共有する」観点から、の文中、地域単位でエネルギー効率よい→効率「の」よい	ご指摘のとおり修正させていただきました。
127	4. 1-4スマートシティ形成に向けた研究で検討されたエネルギーの図。「スマートシティ形成に向けた研究報告書」より抜粋 (「スマートシティ」と記載されているが、「スマートシティ」が正しいので、「ス」を追記する)	ご指摘のとおり、修正します。
128	4. 2-1 鎌倉市における省エネルギーの可能性で、タイトルについて 4. 2-1項は、「鎌倉市における省エネルギーの可能性」については記載されていない為、「鎌倉市における省エネルギーの課題」と記載した方が適切である。	P.4-17表. 家庭での省エネルギー効果推計にて、一般家庭で取り組んだ場合の節約金額と仮に全世帯が取り組んだ場合の省エネポテンシャルを記載しているため、このままとさせていただきます。
129	4. 2-2省エネルギーの方法で、4-15ページ9行目 年間電気使用量 360~430kWh省エネ (年間電気使用量は、買い替えにより何パーセント削減出来るかも表記するほうが理解しやすい)	環境省が提供する「しんきゅうさん」による導入シミュレーションの結果を記載しているため、このままとさせていただきます。
130	4. 2-2省エネルギーの方法で、4-18ページ2行目 財団法人省エネルギーセンター (法人名が旧称の表記になっており、「一般」を追記して訂正する)	ご指摘のとおり、修正します。
131	5章の「スマートエネルギー」という表現です。目指すビジョンの中にも登場してくるこの言葉は、これからの展開を考えると市民の共通理解が必須になるにもかかわらず、イメージが曖昧で、特に年配層には伝わらないのではないかと思います。ゆえに誰でもわかる日本語による置き換え、例えば「高効率エネルギー」(少々ニュアンスが違うかもしれませんが)他を検討して欲しいと思いました。	「かながわスマートエネルギー計画」など、エネルギー分野においては徐々に使われ始めている言葉ですが、指摘のとおり、まだ一般的には浸透していない面があると認識しています。しかしながら、「賢くエネルギーを使う」都市というビジョンを表す表現として他に替わる適切な言葉が見出せないため、今後、市民の皆様に認知してもらえる言葉となるよう、鎌倉市の様々な取組みを通じて広く浸透を図っていきたくと考えています。
132	5. 1 鎌倉市の将来ビジョン～エネルギー分野の視点から～の、5-2ページ図中の下部枠内 低炭素まちづくり (<平成42(2030)年の将来ビジョン>に記載されている「スマート都市・鎌倉」を図中の下部枠内に追記する)	省エネルギーの推進、再生可能エネルギー等の導入促進、効率的なエネルギー利用の促進、低炭素まちづくりの推進を同時に進めることにより、スマートエネルギー都市・鎌倉を実現していきたいと考えておりますので、このままの表記とさせていただきます。
133	5. 1 鎌倉市の将来ビジョンの図「スマートエネルギー都市・鎌倉の将来ビジョン」では、「スマートシティ」と「低炭素まちづくりの推進」のいずれにもEV自動車が描かれていますが、公共交通機関や自転車の利用を軽視していると受け止められかねず、いずれかの絵を差し替えたほうが良いと思います。	EVの普及は経済と環境問題を両立させていく上での有望な施策として国レベルで強く推進しようとしている最重要施策の一つであります。鎌倉市においても国、県と協調しその普及を強く推し進めていく必要があり、蓄電機能を持ったEVはエネルギー政策でも大きな柱となるものと考えております。なお、EVの記述＝「公共交通機関や自転車の軽視」にはならないと考えているためご理解ください。
134	5. 2-1 目標の6行目 …エネルギーをめぐる社会・経済的、技術的動向の変化は激しく、…。 (「激しく」では表現が大袈裟であり、「著しい」と穏やかな表現にする)	国策による電力改革や再生可能エネルギー等の技術革新は、目を見張るものがあるため、このままの表記とします。



番号	意見・質問等の概要	市の考え方
135	<p>5. 2-1目標の5-5ページ下枠内 例えば・・・ * ・・・・・・ * 鎌倉市内の1/3の家庭が、HEMSなどの省エネ機器を導入したり、エアコンなどの主な家電を省エネ家電に交換した場合、・・・・。 について、 (省エネ効果のある順番から、「冷蔵庫」、「照明器具」を追記する)</p>	<p>あくまで目安として掲載しているものであるため、このままとします。また、その下の*印に、冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコンについて、市内全世帯が取り組んだ場合の削減量を記載しています。</p>
136	<p>P5-5 の「例えば・・・」で始まる下部の囲みの5行目に「HEMS」という単語が有るが、初出ならば説明が必要。P5-17には記述されている(見逃していたらお許しの程)。</p>	<p>HEMSを含め、エネルギー関連の全般的な用語解説をつけます。</p>
137	<p>P5-8 の囲みに「～リーディングプロジェクトに向けて～」と有るが、初出ならば「リーディングプロジェクト」の説明が必要(見逃していたらお許しの程)。</p>	<p>第1章P.1-15において、リーディングプロジェクトの説明をしておりますので、ご参照ください。</p>
138	<p>5. 3-1基本方針1の取組みの方向性の、5-9ページ ・照明や空調の切り替え、デマンドコントローラーの導入など、・・・・。 (デマンドコントローラーについては、最新の機器とは言えないので、「およびBEMS(ビル・エネルギー管理システム)」を追記する)</p>	<p>既存施設の省エネ機器等への転換について記載していますので、このままの表記とします。実際に設備導入する場合は、最新機器の導入に努めてまいります。</p>
139	<p>5. 3-2基本方針2の取組みの方向性の、5-11ページ上の枠内 ＜基本方針及び取組みの必要性＞ ・再生可能エネルギーは、・・・・。 (再生可能エネルギーは、自立分散型エネルギーとしてエネルギーの地産地消を促進する為、追記する)</p>	<p>P.5-11＜基本方針及び取組みの必要性＞の2つ目の●にありますとおり、再生可能エネルギーは、地域固有の自然の恵みを生かす循環型のエネルギーであると同時に、小規模分散型を特徴とするシステムである旨記載しております。</p>
140	<p>5. 3-3基本方針3の取組の方向性の、5-17ページ 取組みの方向性③ エネルギーの効率的な利用を進めるシステムの導入促進 ＜基本施策＞ ○エネルギーの高度利用・・・、これらの機器等の導入を促進します。 ○エネルギーの高度利用・・・、これらの機器等の導入については費用対効果を検証の上、導入を促進します。 (省エネ機器等の導入については、費用対効果を検証の上、導入を促進する旨を記載しておく)</p>	<p>コスト削減効果への期待、費用対効果の検証はすべての事業共通の当然の事柄であるため、このままの記載とさせていただきますが、ご指摘の通り、費用対効果を検証しながら、公共施設への率先導入はもちろん、企業等への導入を促進してまいります。</p>
141	<p>「5.3-4 基本方針4」の冒頭で記されている第3項のライフスタイルに関する表現を「そして、こうした都市構造や社会環境の転換に合わせて、単なる大量消費に裏付けられた生活の豊かさでなく、家族や地域の絆、健康、自然、地球環境との共生などに価値を置いた真に必要な質の高い生活を持続できるような消費構造を有するライフスタイルへの転換が不可欠になります。」とするのはいかがでしょうか。</p>	<p>いただいたご提案の趣旨を踏まえ、記述の修正をします。</p>
142	<p>5章の「低炭素社会実現に向けた基盤整備」●住まい .. 鎌倉市内には築30年前後で建替えや改修が必要 .. 今どき、築30年で建替えるのは異常ですから、脅迫的にとられてしまいます。バブルの頃の某ハウスメーカーCM(批判集中で中止)を思い出します。「旧耐震基準で建てられた1981年以前の住宅には、耐震性が低いものもあるので」と正確に書くべきです。市の「耐震診断窓口」の情報も記すのがよいでしょう。</p>	<p>各住戸の耐震問題は鎌倉市の大きな課題ですが、このエネルギー基本計画では、鎌倉市の住宅は県の平均に比べ「築年数の古い」建物が多いいことを記載しています(2-10頁参照)。しかしながら、ご指摘のとおり、「築30年前後で建替えや改修が必要・・」という断定的な表現をあらため記述の修正を行います。また、耐震等の情報につきましては、担当原局にも趣旨を伝え、別途、広報等で周知してまいります。</p>
143	<p>5. 4-2各主体の行動の市民の行動で、自動車の事に触れるだけでなく、自転車や公共交通機関の積極的な利用にも触れるとよいと思いました。</p>	<p>「近距離の移動でのマイカー利用の自粛」という中で、徒歩、自転車、公共交通機関の利用など、最適な交通手段を利用させていただきたいと考えています。</p>

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
144	5. 5計画の推進で、5-30ページ上の枠内 ●省エネルギー及び再生可能エネルギー導入促進のビジョンを策定して、施策の具体化を図る。 (NEDOの補助事業である「省エネルギー及び再生可能エネルギー導入促進のビジョン策定事業を活用して、施策の具体化を図ると有効な為、追記しておく)	いただいたご意見を参考にし、エネルギー基本計画の具体的な実施に向けて、取り組みを進めてまいります。
145	5章では、「低炭素まちづくり」に関するイラストがEVになっていることが多く、そこには公共交通機関や自転車等も表現して欲しかったです。新しい機器も効果的な場合もありますが、今あるものを上手に使うことも大切だと伝わって欲しいからです。	非常時の蓄電池としての活用イメージでEVのイラストを用いていますが、低炭素街づくりに向けた交通政策においては、EVのみならず既存の公共交通機関や自転車などの有効利用も重要であると考えていますので、ご意見の内容を踏まえ様々な施策に取り組んでいきます。
146	2. 1-1 鎌倉市の地域特性について、鎌倉市では上下水道の流れを利用した小水力発電の可能性はないのでしょうか？	今後の技術革新、低コスト化などが進めば、将来的には実用の可能性もあるのではないかと考えています。
147	再生可能エネルギーは、持続可能性社会の実現には欠かせないものです。 再生可能エネルギーの導入は、初期投資を伴います。固定価格買取制度の動向に左右されますが、投資回収期間は概ね何年ですか。	平成26年度の固定価格買取制度を前提に太陽光発電のケースで試算した場合、概ね8年程度になりますが、初期投資のみではなくメンテナンス費用も考慮した場合、10年程度が投資回収期間になるのではないかとみています。
148	本計画素案を実践するため、どの程度の財政負担を伴いますか。	財政負担についての具体的な試算はしていませんが、市レベルでのエネルギー問題への取り組みにあっては、例えば屋根貸しによる太陽光発電設備の設置やESCO事業などを活用した省エネ施策、市民ファンドの創設など、国や民間の力を活用し、大きな財政負担を伴わない中で波及効果の高い施策を考えていくことが重要と考えています。
149	意見募集の際に氏名等の情報提供を必要条件とすることに疑問を持ちます。このために応募を躊躇する人もいるかと思えます。賛成と反対の数とかを問題にするなら条件を満たす意見のみで数えればよく、名乗らない意見は不要と切り捨ては、ごく普通に生活している方々には応募の障害になります。どんな意見にも無責任な意見と切り捨てず耳を傾けられるようにかえて下さい。採否は市役所側にあるのですから、この事は応募者が偏る結果を生じていると思われま	意見公募については、広く市民等から意見をいただき、公正で透明な開かれた市政の推進を図るために、「鎌倉市意見公募手続き取り扱い指針」に基づき行っています。市民等であることを確認するために、氏名・住所等の情報提供をいただいておりますので、ご理解・ご協力をお願いします。なお、無記名で寄せられ、パブリックコメントとしては取り上げられなかったご意見等についても、貴重な意見として受け止め、可能な限り施策に反映させていきたいと考えています。
150	今年より一部自家発電(太陽光)と昨年より太陽温熱での床暖を使用し、鎌倉市内で菜園をしたり、生ゴミは100%土に反したりとエコな食堂を営んでおります。祖父の代より受け継いだ築100年近い家に住んでおりますが、周囲には景観を損なう自動販売機やタバコのポイ捨てなどあり残念に思います。また、小坪トンネルの夜間ライトはまぶしいほど明るく、こんなに明るくなくて良いのでは？と通るたびに思います。 世界遺産に登録される前に、鎌倉市内は優しい思いやりあるドライブをして頂きたいと願っています。お正月のように時折歩行者天国のようにしてしまうのもひとつかもしれません。また、子どもがいる世帯は自家発電などはじめたくても初期投資がなかなかできません。しかし、この先ずっと鎌倉市に住み続けるのは子どもたち。「子どもたちにとっていかに良い事をしてゆくか」これにかかっていると思います。 例えば、鎌倉市の給食は牛乳を飲まずお弁当持参しても返金されませよね？他市では返金されています。何も返金しろというのではなく、こういった余剰金を未来のために使って頂きたいのです。	未来の子どもたちに豊かな社会を残せるよう、未来につながる施策の推進に努めてまいります。

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
151	<p>個人的考えとして、先日の大雪の際、車通りが少なくなった道に人が多く見られ、活気があるように見受けられました。いろいろと難しいところも多いとは思いますが、月に1度でも中心地に車が入らない日があれば無駄なエネルギーも必要なく、また市として美しさも実現できるのではと思いました。</p> <p>私どもは、月日が経つと物事を忘れてしまうくせがあります。3.11が起きた時は節電をし、必要なものを必要なだけ使うことができていたはずですが、それが薄れている気がします。・無駄なイルミネーションの取りやめ、トンネル電灯の節電、冷房暖房の節約(先日伺った図書館は暑いほどでした。)など具体的にも考えられます。あるから使うではなく、あっても必要以上使わない。そういう心を広げていただきたいです。</p> <p>課は別かもしれませんが、落ち葉、枝をゴミとして収集する必要があるかも疑問です。庭に埋めて置いておけば腐葉土になるはず。いろいろなことを教えてくれ、多くの方に知っていただく機会を作ってもらいたいです。(無駄な印刷物も不要。)</p>	<p>節電や省エネルギーなどある程度は取組みは定着していますが、わたしたちの生活の中には、まだまだたくさんの無駄があります。一人ひとりが気づき、改善できるような取組ができるよう施策を推進してまいります。</p>
152	<p>海の家から破棄されるゴミは町中ならず海への流出が近年非常に目立ちます。鎌倉の町ならびに浜辺をクリーンに保つことや、外部もしくは商店から持ち出されるゴミについての処理＝エネルギーロスがあることを理解してもらうための政策が必要だと思います。エネルギー源とは直接関係ないと思われがちですが、今後観光資源についても検討する上で、日常生活以外からも発生するエネルギーロスの抑制についても議論を進めてほしいと思います。</p>	<p>ごみの処理には相当のエネルギーが必要になります。今後も指摘のエネルギーロス等についての理解が進むよう、啓発に努めてまいります。</p>
153	<p>今の鎌倉市で最大のエネルギー問題は、燃やすごみの減量化です。今日2月6日の朝日新聞で報じられています。市はごみ入れ袋を指定して有料化して10月から実施を目指すというものです。市内全域のクリーンステーションでポリエチレン袋の再利用が見られます。今まで市が旗をふってきた3R活動促進と全くちがうものです。矛盾で本末転倒で、いったいこれは何だ。水の泡で大きな怒りをおぼえます。</p>	<p>ポリエチレン袋については、そもそも発生抑制の観点から、マイバッグ等を持参して、レジ袋を受け取らないという発生抑制の啓発に努めてまいりましたが、今後も引き続き市民の皆様にご協力いただけるよう啓発等を行っていきたくと考えております。</p> <p>なお、市が定めた有料の指定収集袋を購入していただくことで、経済的インセンティブが発生し、混入されていた資源物の分別が進み、ごみの減量が図られると考えています。</p>
154	<p>鎌倉市民は、既に国内で比較しても高額な市民税を納税しています。その財源の中で適切に運営できないのは、鎌倉市の運営能力が低いからです。従ってこれ以上、市民に税や財政を負担させるのは反対です。仮に、増税、財政負担をさせるのであれば、数値で現状分析を行い、課税等を行うことで、どの様に現状回復できるのか、また、それらが他の考え得る施策よりも優位であるのかを理論的に説明して頂く必要があります。ごみの有料化について、初めて市の説明会へ行きましたが、中学生レベルの資料で説明されていることに大変驚きました。</p>	<p>平成27年3月に今泉クリーンセンターが焼却を停止するため、名越クリーンセンターで焼却可能な3万トン以下にまでごみを削減しなければならない喫緊の課題があり、先行導入自治体でも実績があり、ごみの減量・発生抑制に寄与する施策である有料化の導入を計画するに至りました。</p> <p>今後も、多くの方に分かり易くご理解いただけるよう、説明会の資料及び説明内容につきましては、内容を精査してまいりたいと思います。</p>
155	<p>ごみ減量化のためには戸別収集・有料化が必要との認識には同意できません。有料化が負担の公平化との認識は誤りです。収入の多寡により負担感の大小は異なります。減量の意識を高めるのに有料化が最善とは市民を愚弄しています、啓蒙活動の欠如とは考えませんか？(増税が目的ではないなら、実施する場合も生活に基本的に必要な一定量分として無償で袋を家族の人数に基づき配布すべきです。しかし、戸別収集・有料化自体には絶対反対です)。ゴミの分別に市民の一層の理解を得るために戸別収集が必要というなら、啓蒙が必要な地域を分別指導のために一定期間戸別収集として指導を行うなど、別法も考えられるはずです。</p>	<p>有料化はごみの排出量に応じて、ご負担をいただくこととなり、日頃からごみの削減に取り組んでいただいている市民の方は費用負担も少なくなります。</p> <p>また、全国の自治体の約6割で有料化を実施しており、取り組んでいる自治体では、ごみの減量効果が確認されていることから早期に実施すべきと考えています。</p> <p>戸別収集については、様々な意見が出されたため、今後十分な市民理解を得ていくため、実施時期を先送りしました。</p> <p>また、一定量の袋の配布についてですが、減量効果が表れにくく、配布事務等が煩雑になりコストもかかることから、本市規模の自治体での導入実績はありません。</p> <p>啓発活動については、今後も、分かり易い分別冊子の作成を含め、積極的な啓発を進めていきたいと思っております。</p>
156	<p>新焼却施設の候補地として、野村経済研究所跡地が最適だと思います。熱源を利用して他の有用施設の建設も計画してください。野村から寄付を受けた際に諸条件が付いたと聞きますが、適当な利用具体案が出来なかったため、長期間放置して荒れ果てた現状は無策の一言です。市にとって非常に重要な設備用地として活用するのなら誠意をもって説明し相手の理解を得るべきです。このことは今泉台の施設についても言えることで約束がすべてとせず、本当に必要な設備なら必ず理解していただけるはずです。市長の熱意をもって説得してください。</p>	<p>現在、新焼却施設の建設候補地の検討に着手していますので、今回のご意見も参考にさせていただきます。また、焼却施設が生み出すエネルギーの有効活用も視野に入れ、鎌倉市にとって最適な焼却施設の建設を目指していきたいと考えています。</p>

番号	意見・質問等の概要	市の考え方
157	<p>鎌倉ですすめている生ごみ処理機のキエーロなどもとてもいいと思います。助成するのもいいですが、自分で作る方が高いのでワークショップで自分で作っても助成されるとかがあってもいいかなと思います。</p>	<p>非電動型の家庭用生ごみ処理機については、現在、4万円を限度に購入費の9割の助成を行っています。また、キエーロについては直接市役所窓口において、助成額を差し引いた負担で購入できる制度を行っています。 自作された生ごみ処理機については、機能や耐久性などの判断が難しいため、現在のところ助成の対象とはしていません。</p>